



KSKQ

# 萌風香

2021年度 春号

誰もが生き活きと  
自分らしく暮らせる  
心豊かな社会を  
創造します。

社会福祉法人萌 広報紙 NO.72, 2021.4.17 編集人 社会福祉法人萌 定価 150円

〒630-0256 奈良県生駒市本町7-14 ブルームビル2階 ひだまり内 TEL 0743-85-4196

## 「暮らす支援」の充実を！

～第3期中期計画を1年延長～

2020年度は第3期中期計画の最終年でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により予定していた活動ができなかったため、中期計画を一年延長します。

第3期中期計画の柱であった、在宅で望む生活を続けられるための支援として、「自立生活援助事業」(郡山エリア記事参照)を全エリアで実施します。

地域移行を進めていくにあたり、「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の体制づくりと連動しながら、個別支援や交流会などを通して病院に地域の風を送り込みます。

また、地域自立支援協議会などを活用して病院と連携できる地域のしくみづくりを行います。

そして、奈良県ピアサポーター養成講座が実施された後には、ピアサポーターを地域移行や自立生活援助の支援員として雇用します。

また、各エリア(生駒・郡山・西和・高田・橿原)で啓発・交流イベントなどを実施し、「地域に巻き込まれる」活動を再開します。

福祉統括部長 山本 桂子

## 家族に対する支援もしっかりと

～法人運営協議会で意見交換～

梅の香りがただよう2月下旬、2020年度2回目の運営協議会を、委員8名、理事長以下萌職員8名の出席で開催しました。

法人事業の運営状況として6月30日現在の萌利用者数の報告と、中期計画として地域生活基盤を充実させる支援(左記)の説明の後、20周年を迎える萌に対しての意見交換をしました。

▼コロナウイルスの予防接種が始まると聞いている。いつどこへどうやって受けに行くのか？▼接種に対して不安な利用者にスタッフは付いてきてくれるの？▼高齢になる利用者とその家族、両方の支援を考えてもらいたい▼僕たち古株の利用者だけじゃなく、もっと若い利用者にもこの先20年の萌を盛り上げてほしい▼家族に対する支援もしっかりやってもらいたい。など貴重な意見をたくさんもらいました。

限られた時間ではありましたが、集まってお互いの顔を見ながら話すことができ、心が温まるひとときでした。皆様からのご意見は、今後の活動に活かしていきます。

担当(生駒エリア)部長 佐藤 恵美

### 四徒然

社会福祉法人萌

理事長 吉川 郁子

萌は、今年8月に法人設立20年を迎えます。今まで関わっていただいた皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

昨年度はコロナ禍で、人と人福祉サービスなど多くのつながりが絶たれてしまいました。今まで穏やかだった生活が一変し、心身共に不調になった方も少なくありません。「人と距離をとる」ことに懸命になる一方で、「人とつながる」ことの大切さを今まで以上に思い知る一年でした。

コロナ禍によらず、障害や高齢が理由で家から出られなくなり、人や社会とのつながりが途切れる方が数多くおられます。

今年度は20周年の節目として、新たに訪問活動を初め家で安心して暮らせるような支援の充実を、新しく加わった5名の職員と共に進めてまいります。

生駒エリア			
生活支援むち-コスモールいこま	0743-73-7000	地域活動支援むち-コスモールいこま	0743-73-0900
ひだまり	0743-85-4196	コミュニティスペースはなな	0743-73-1050
グループホーム楽都	0743-73-0141		

## 人・地域に支えられた20年

開設20周年を迎えた「コミュニティスペースはなな」。

感謝の気持ちを伝える企画を新型コロナウイルスの影響と合わせて考え、「記念冊子の作成」と「感謝祭ウィークの開催」をすることにしました。

感謝祭は2週間開催し46人が参加。活動の説明や利用者から詩の朗読を行いました。



ありがとうございます！

記念冊子と特製製菓詰め合わせをお渡し、感謝の気持ちを伝えました。

来訪者からはたくさんのお花やお祝いをいただきました。

20年前、場所探しから運営まで。ひだまり家族会員をはじめ、多くの人の協力があり、開所することができました。

当時は平屋のプレハブで絵画教室や木工などの創作活動のほか、居場所づくりが中心でした。

1年後法人化されましたが、法人化の後も多くの方々の協力があり今まで活動を続けることができました。



ひだまりから見学に来てくれました

「感謝祭」には、開所当時から活動を支えてくれたボランティアグループ「すずめ」(現在は解散)の会員さんが6人も来てくれました。

昔のアルバムを見て「懐かしい!!」「若い!!」と当時の苦労話や楽しかったことなど



昔の思い出がよみがえります

ベテラン利用者と当時の出来事を語り合いました。

最終日の午後は吉川理事長や元職員を招いての「お疲れ様会」を開催しました。

オードブルやケーキなどでお祝いしながら懐かしい職員も交えて、思い出話で盛り上がりました。

プレハブ時代から2度移転をしましたが、今の場所に移転してから11年の月日が経ちます。

現在は内職作業や製菓を中心に清掃作業や地域情報誌の配布を行っています。また広報紙の仕分けを行い、地域の一員として自治会の役割を担っています。



その年ごとに思い出がいっぱい！

今回「感謝祭ウィーク」を開催して、いろんな人に支えられて今があると実感できました。

支えてくださった皆さん本当にありがとうございました。今の繋がりを大事にしながら、これからも生駒の地で必要とされるように30年、40年とずっと活動を続けていけるように頑張っていきます。

郡山エリア			
生活支援わが-ふらっと	0743-54-8112	地域活動支援わが-ふらっと	0743-54-3977
ふれあい工房	0743-54-6701	彩食キッチンBon	0743-58-5572
グループホームもえぎ館	0743-85-4112		

## それぞれの人生を生きるために ～大和郡山市主催「家族教室」～

### 「壁新聞」心をこめて作成中！

毎年、地域活動支援センターふらっとでは「出張サロン」として五条山病院に入院している方と交流会をしています。

しかし、前年度は感染症対策で訪問ができなかったため、病棟内に掲示する壁新聞を作成することになりました。

「地域で暮らすってどんな感じ？」とみんなで話し合い内容を考えました。

「自由で楽しい」「ふらっとで仲間ができた」などたくさんでた意見をもとに、みんなで楽しく作っていきます！



みんなでワイワイ手作り中！

精神障害の人を支える家族が集い、話し合う勉強会として行われている大和郡山市主催の家族教室。

2020年度3回目の講師は当事者であり、ピアヘルパーとしての経験もある富永真弘さん。



質問に丁寧に答える富永さん

テーマは「支援者・当事者からみた障害福祉サービス」。

中でも印象的だったのが、「家族との距離間」についての話です。

母親にも障害があり関係が悪くなった際に、1人暮らしをすることで物理的に距離をとり回復したこと。

「大切なのはお互いを頼る事ではなく、頼る先を支援者や福祉サービスに変え、それぞれの人生を生きる事だ」という話がありました。

当事者として、そして支援者としての経験を活かした富永さんならではの話を聞くことができました。

## 住み慣れた地域で自分らしい生活を

### ～自立生活援助事業の取り組み～

グループホーム「もえぎ館」は、2020年8月に自立生活援助事業の指定を受けています。

一人暮らしを送るにあたって生活に不安がある方を対象に、困りごとを自分で解決できるよう定期的に支援者が自宅へ訪問しています。

「体調の変化に不安がある」「公共料金や家賃の支払い方が分からない」「近所付き合いのなかで、気になることを相談したい」など、相談内容は多岐にわたります。

一人暮らしの「不安」から「安心」へ。支援者の定期訪問を基本に、時間をかけてお話を伺っています。

利用を希望される場合は、お住まいの市町村障害福祉窓口もしくは相談支援事業所へお問い合わせください。

#### 自立生活援助事業

障害者支援施設やグループホームなどから一人暮らしへの移行を希望する知的障害者や精神障害者などが対象。

本人の意思を尊重した地域生活を支援するため、一定の期間にわたり、定期的な巡回訪問や随時の対応を行う。

障害者の理解力、生活力等を補う観点から、適時のタイミングで適切な支援を行う福祉サービス。

西和エリア

生活支援わが-ぼると・ベル	0745-43-5541	地域活動支援わが-まーぶる	0745-75-6545
らそら	0745-70-1577	グループホーム彩友館	0745-43-9333

## コロナ禍ゆえの新たな仕事

らそらでは西和 7 町から依頼を受け、町民に配布するマスクのシール貼りとチラシ印刷の仕事をしました。

西和 7 町では、誰もが生きやすい社会をめざし、障害のこを知る機会を作ろうと例年は住民講座などを行っています。



「暮らしやすい社会に」のシール

2020 年度はコロナ感染拡大防止のため講座などが開催できませんでした。その代案・新たな取り組みとして啓発グッズの作成が決まり、その一役をらそらが担いました。

地域で活動しているこども食堂などから、お弁当の注文を昨年度から新たに受けていますが、お弁当だけではない新たなつながりができる機会になっています。



7月には子ども応援PJとして弁当を配布

## 「班長をお願いできませんか？」

昨年冬、うれしい依頼が飛び込んできました！同じ昭和町自治会の方が「来年度の班長をお願いできませんか？」と声をかけてくださったのです。

さっそく班長の集まりに参加。これまで、西和ふれあい祭りの開催や自治会清掃への参加子ども会とのハロウィンイベントを行ってきました。

また、コロナ禍には自治会の福祉会とタッグを組み、困っているご家庭にお弁当を届けました。



夏には福祉会と協働して弁当を配達

そのおかげもあり、班長の集まりでは「お弁当ありがとうございます」「子ども会でもお世話になっています」など、住民の方から暖かい声をかけて頂きました。

西和エリアでは“まちになじむ”という中期計画を掲げ、住民の方とともに活動することを大切にしてきました。今までの活動が繋がりがまちになじんできている実感の湧く機会となっています。

## つながり目指し、研修会で講師

特定相談支援事業所(計画相談をしている事業所)向け勉強会が開催され、ぼると・ベルの所長が講師を務めました。

この勉強会は、西和 7 町(平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、上牧町、王寺町、河合町)が主催で初めての試みです。

2月と3月に2回開催され、ぼると・ベルは1回目となる2月18日に講演。テーマは「精神障害の特徴とサービス等利用計画作成のポイントについて」です。

当日はオンラインでしたが、18名の参加がありました。

「脳の病気と心の病気についてもう少し詳しく説明してほしい」「ストレングスの視点を意識してうまくいった事例を教えてください」との質問があり、1時間の予定時間はあっという間に終了しました。

この研修は、今後も続きます。2020年度はコロナ禍のためオンラインでの実施でしたが、繰り返し顔を合わせることで、事業所同士の横のつながりができ、相談し合える関係になればと思います。

高田 エ リ ア			
生活支援わがなっつ	0745-23-7214	地域活動支援わがなっつ	0745-23-8105
マインドホーム高田	0745-23-8072	おかわり	0745-23-5625
えいぶる	0745-52-5752	あっとほーむ香芝	0745-44-8023

## わいわいと作業を続けてもう5年 ～5周年にちなんで一句～



今回のために作成した法被もお披露目！

今年で開所してから5周年を迎えたあっとほーむ香芝(以降あっとほーむ)。節目の年を祝う記念パーティーを行いました。今回はその様子をお届けします。

2015年、香芝市で初めて精神障害者を対象にした事業所が「あっとほーむ」です。

事業所名は「家のような温かい場所になるように」という思いが込められ、公募で選ばれました。

地域から求められていること、実際に利用する当事者が求めていることを考えて、どんな事業所にしていこうと悩む日々が続きました。

開所当初は利用者も作業も少なかったため、市内の内職業者へみんなで見学へ行ったこともありました。年月が流れるごとに利用者も増え、作業もあふれるようになりました。

あっという間に経過した5年間。新型コロナウイルスの影響で利用者、職員のみとはなりましたが、みんなで5周年を祝いました。

開設当初の所長、鎌田剛史さんからは開所前のお話をいただきました。利用者から「どんな事業所にしたいと思っていましたか?」「しんどかったことはありましたか?」などの質問があがり、「しんどいことはなかった」「働



5周年記念のケーキに入門♪

く人、ゆっくりする人の両方が居心地の良い事業所を目指していた」といつもの笑顔で当時の思いを語りました。

合言葉が「OneTeam!」のあっとほーむ。作業が終わらずてんやわんやした時はこの合言葉があちこちから聞こえます。

この言葉は開所当初からのスローガンからとったものです。「みんなで和気あいあいと前に進んでいける温かい場所」を胸に、「Enjoy! あっとほーむ」「みんなで支え合えるあっとほーむ OneTeam」と更新してきました。どれも利用者と職員の思いが詰まったものです。

そんなこともあったなあ、と当時を振り返りながら笑いあり涙ありのパーティー。団結力がさらに高まる機会となりました。

私たちにとって心地よい場所であり続けることを大切に、これからもOneTeam!で楽しみながら香芝のまちを盛り上げていきたいと思ひます。



おかわりにオーダーしたオードブルで舌鼓

檜原エリア

生活支援センターひあぼ〜と	0744-24-2020	地域活動支援センターひあぼ〜と	0744-24-2070
生活支援センターいろは	0744-32-7753	ひなた舎	0744-32-7745
Pit八木	0744-21-5666	グレアムホーム南	0744-24-2050

## ラジオ体操してます！

ひあぼ〜とでは、コロナ禍の運動不足を解消するために、昨年夏ぐらいからラジオ体操をしています。



心も身体もスッキリ！

きっかけは、ミーティングで「運動不足で、ラジオ体操したいなー」という皆さんの声でした。ラジオ体操のDVDは利用者のご好意で。耳なじみのあるあの音楽♪が毎日サロンで流れて

います。ラジオ体操の第1と第2を連続して行っています。

体操することで、気持ちを切り替えれたり、身体がほぐれて、リラックスできます。「特に肩回りがほぐれる〜」と大好評！

コロナ禍で、なかなか外へ出かけるのも難しい中、みなさんもぜひお試しください！！

## 安心・安全・快適に

Pit 八木に洗面所を増設しました。コンパクトながらも洗いやすいオシャレな洗面所です。

新型コロナウイルス感染防止対策として、手洗いの徹底を行ってきました。にもかかわらず、これまでの洗面所はトイレの中にあり、洗面ボウルが小さく洗いにくく、とにかく使いにくい・・・。

できた洗面所を見た時は、みんなの目が輝き、「わー、すごい！」と歓喜の声。「気兼ねなく手洗いができて安心。」「使いやすい！」と大満足です。

コロナ禍でストレスがたまることの多い日々ですが、少しでも安心安全で、笑顔になれる快適な場所を目指して、今後も環境整備を続けていきます。



衛生的でとてもいい洗面所です♪

## 祝 合格！

### 精神保健福祉士になりました

3月中旬のある日のこと。ひなた舎にうれしいニュースが飛び込んできました。

利用者の中井幹夫さんが、精神保健福祉士の国家試験に見事合格したのです。

中井さんは、宿泊施設でベッドメイキングのお仕事をする傍ら、佛教大学の通信制に通いながら、精神保健福祉士の資格取得を目指していました。

資格取得の動機について、中井さんは「ひなた舎に通うようになり、職員さんの働く姿を見て、私もこんな仕事してみたいと思うようになった」と話します。

この一年は、コロナ禍の影響もあり、大学の授業がリモートになったり、病院実習が中止になったりと、様々な困難がありました。

しかし、それにもめげずに国家試験の受験資格に必要なカリキュラムを全て履修し、試験に臨んだのです。結果は、晴れて合格。無事、精神保健福祉士になったのでした。

精神保健福祉士になりたいという夢をかなえた中井さん。「これからは、資格を活かした仕事もしてみたい」と言います。

精神保健福祉士として活躍する中井さんの姿を見れる日も近いことでしょう。

## はじめまして よろしくお願ひします！ 2020~2021年度 萌 中途・新任者職員紹介



### 竹島 理歩 (たけしま りほ) 配属先：マインドホーム高田

初めまして。私は奈良県で精神保健福祉士として働きたいと思っていましたので、実習でお世話になった萌に入職でき嬉しいです。利用者の皆さんと一緒に考えながら過ごしやすい環境を作れる精神保健福祉士になりたいと思っています。

関わらせていただく中で、日々自身の成長にも努めたいと思います。趣味はピアノを弾くこと、漫画を読むことです。社会人1年目でわからないことだらけですが、精一杯頑張りますのでよろしくお願ひ致します。



### 竹森 淳子 (たけもり あつこ) 配属先：ふれあい工房

昨年5月に入職させていただきました、竹森と申します。以前は同じ大和郡山のBoncafeでお世話になっておりました。美味しいお料理やスイーツをつくる楽しさを教えていただきました。

これからもお客様が笑顔になっていただけるようなものをつくるように日々努力していきたいと思っています。また、萌の基本理念である“誰もが生き活きと”過ごすことが出来るような場所を作れるように頑張っていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



### 宮地 有美 (みやじ あみ) 配属先：らそら

初めまして。今年の1月より入職させていただいております。以前は、石川県で働いていました。故郷である奈良県で働くことが出来て嬉しいです。

初めてのことがたくさんで戸惑うことも多いですが、みなさんと同じ時間を過ごす中で、心が動く瞬間を大切にしながら成長していきたいです。まだまだ未熟ですが、よろしくお願ひ致します。



### 森 好美 (もり このみ) 配属先：ひだまり

はじめまして。4月からひだまりに配属になりました、森と申します。出身は岐阜です。大阪の大学に通っていたので、関西に住み始めてからかれこれ6年目に突入します。関西も東海も、それぞれの良いところがあり大好きです。就職は福祉関係の仕事に就きたいと考えていたところ、萌にて勤務させていただけることになり嬉しいです。

皆さんから色々なことを教えていただきながら、私らしく頑張っていきたいと思います！ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、よろしくお願ひいたします。



### 横田 遥香 (よこた はるか) 配属先：ひなた舎

この春、関西福祉科学大学を卒業しました横田遥香と申します。兵庫県伊丹市が出身地で、よく「伊丹空港の近くに住んでいるの？」と聞かれるのですが、中山寺というお寺の方が近いです。カラオケやゲームをするのが好きで、おすすめのゲームがあれば教えて下さい。

未熟な点が多く、たくさんご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしくお願ひいたします。精一杯頑張りますが、至らない点がありましたら、ご指導いただけると幸いです。

## 20周年の取り組み

2021年8月、社会福祉法人萌は設立20周年を迎えます。今までの法人の歩みについて、萌に関係するみなさまと共有するために、『20周年誌』を作成します。(みなさまのお手元に届くのを楽しみにお待ちしております。)

また、地域のみなさまへの感謝を伝える集いについては、コロナ禍のため、2022年度へ延期します。一年かけて利用者と職員と一緒に考えていく予定です。今回の取り組みだけでは、まだまだ十分な改善とは言えない状況です。

今後も支援の質の維持向上、人材定着をより図るために、引き続き処遇改善の取り組みを進めていきます。

## MEMO

生駒地域家族会  
「ひだまり会」、大和郡山地域家族会「さくら会」と無認可作業所の「ひだまり共同作業所」「コミュニティスペースはなな」「ふれあい工房」が協力して法人設立準備会を設置。

多くの方からのご支援により2001年8月、社会福祉法人萌は誕生しました。

さくらんぼ便り

ホームヘルプステーションさくらんぼ 0743-54-0800

備えがあれば大丈夫!?

ホームヘルプサービスを利用する動機は様々です。食事の支度ができない、体調が整わず生活環境が乱れてしまった等、現実的に困っていることを改善するために、サービスが導入されることが多い中、「将来一人暮らしになった時に備えて」という理由で支援が始まる場合もあります。

ヘルパーは、本人が家事をできるようになるための指導者ではなく、またその家の事なら何でも代わりにするという家事代行者でもなく、例えば、食材を買いに行く、食器を洗う等、それまで本人がしなくてもよかったことを「やってみる」きっかけを作るのがその役割です。

「調理なんて」と渋い表情をしていた男性が、ある日エプロンをつけて待っていて下さった時の嬉しかったこと。

うまくいく時ばかりではありませんが、素敵な変化を身近で見せてもらえることは、私達の原動力です。

ライク通信

なら西麻郡業・生活支援センターライク 0743-85-7702

夜間サロンはオンラインで

「働く仲間たちの集いの場」として毎月開催した夜間サロンは、新型コロナウイルスの影響で中止していましたが、約1年ぶりにオンラインで開催することができました。

「ひさしぶり。元気にしてた?」、「仕事どうなん?」と皆で話をしながら、食事や入浴へと自由に席を立つ人もおり、オフ時間を利用したオンラインサロンならではの雰囲気でした。

集まる交流会は中止せざるを得ない状況ですが、今後もオンラインの活用を検討し、「このような時だからこそできること」を考え続けていきます。



ライク初! オンラインサロン (2021.2.26)

★萌風香の購読★

萌風香は年4回1500部ずつの発行です。皆様のお手元に届いた後、萌の事業所利用者以外の方で「引越して住所が変わった(住所変更)」「次からは送ってもらわなくても結構です(購読中止)」という場合、お手数ですが必ず編集部ひだまり(0743-85-4196)までご一報くださいますようよろしくお願い致します。



▽萌 後援会からのご案内

萌後援会は「社会福祉法人萌」の活動を支援していただける皆様を募集しております。

主な目的は萌フェスタをはじめとした事業の支援や寄付を行なっています。

会費の納入及び寄付の受付口座は郵便振替 社会福祉法人萌後援会

00920-4-221824

後援会事務局(萌総務部内)

0743-54-0821(大東)

▽ハートフルこおりやま 精神障害者の社会参加をすすめる会

「障がいのあるなしに関わらず、誰もが住みやすい街づくり」をすすめる当会では、会の趣旨に賛同頂き、活動に協力して下さる会員さん・ボランティアさんを大募集しています!!年会費は1口500円(2口からお願いします)です。

連絡先:会事務局 ふらっと内 0743-54-3977(桑原)

▽生駒精神障がい者後援会 ひだまりクローバー

生駒市の施設を利用する精神障害者への財政的支援(交通費など)と、啓発活動(トーク&ライブひだまり、こころの市民講座など)をしています。

年会費 一口2000円から。

新規会員募集中!

連絡先:コミュニティスペースはなな内 0743-73-1050(佐藤)

新型コロナウイルスの影響で、各例会の開催が中止・延期など変更されています。詳しくは、下記の各団体・お問い合わせ先にご確認ください。

家族会の情報

詳細は まほろば会(NPO 奈良県精神障害者家族会連合会)

TEL:090-9213-2731 FAX:0742-51-5506 https://nijironokaze.jimdo.com/

Table with 6 columns: 名称, 月例会, 時間, 場所, 問い合わせ先, 電話番号. Rows include さくら会, ひだまり会, 西和家族会, すみれ会, のぞみ会.